

# あかるいまち 21

No.1606 2023年7月28日  
組合員活動推進課 082-532-1264

	7月	2023年度
組合員ふやし	92人	402人
出資金ふやし	1,170万円	3,691万円
純増	△465万円	△894万円

## 患者さんを増やすためには組合員ふやしが大切

### ～五日市診療所の取り組み～

五日市診療所では6月に7人の加入がありました。これは診療所にとっては異例のことです。通常は1か月に1人加入があれば良いほうです。

コロナ禍であった2021年度、2022年度の往診収益を除く一般外来収益は、行政の相談センターからの紹介もあって新規患者が増え、前年収益比もそれぞれ150%、180%の増収になりました。今年、2月から3月コロナ感染収束、5月の2類から5類へ移行したこともあって、収益は2023年6月時点で前年比の約70%に落ち込み、新規患者数も減少しています。

6月の職員会議でこのことについて話し合い、個々のスタッフも憂慮していることがわかりました。「患者さんが一人でも多く来院してもらえるためにはどうしたらよいか？」掲示もしてるし、DM発送もしてるし、ニュースも出してるし、これ以上何を・・・」着目したのが組合員利用率でした。コロナ禍では新規患者が多いこともあって、組合員利用率が60%



台でしたがコロナ禍を過ぎると70%台になりました。このことから組合員である患者は継続的に五日市診療所を利用してくれている、また、新規患者であっても組合員の方は1度受診されれば再診率（再来院率）が高いことをこの会議で共有しました。その結果、みんなで加入をすすめようと思いつきました。

これまでは主に、会計時に受付で加入をすすめているパターンでしたが、6月から医師の診察前の看護師によるバイタルチェック時にも声をかけ、受付でもかけるようにしました。これにより受付→バイタルチェック（加入をすすめる）→一旦待合で診察を待っているときに佐々木所長の「骨検診おすすすめポスター（出資金の意味、骨検診の組合員、非組合員の比較料金表）」を改めてもらえらる。→会計時に再度、念押し。という流れになりました。この結果、これまで加入をすすめても加入いただけなかった方も加入してくださったりと6月の加入結果になりました。あわせて骨密度検診も好調です。

7月は組合員ではない方が少なく、明確に加入しない方もおられ対象者が少なくなり3人の加入にとどまっていますが今後も地道にすすめていきたいと思ひます。

なお、増資については残高証明書の発送とも相まってこれを持参されて「今度、新しい施設ができるのですね。お世話になるかもしれないので増資します。」「残高証明書が来たのでいつもの積み立て増資より今回は増額します。」とほぼ毎日増資がある状況です。



記：山田事務長